



& Saxophonettes  
for saxophone and contrabass

YASUAKI SHIMIZU

トリフォニーホール《ゴルトベルク変奏曲》2010  
Triphony Hall "Goldberg Variations" 2010

あの『チェロ・スウィーツ』から10年  
5サキソフォン+4コントラバスによる  
清水靖晃のゴルトベルク変奏曲

# 清水靖晃 & サキソフォネッツ

《J.S.バッハ／ゴルトベルク変奏曲》

J.S.バッハ／ゴルトベルク変奏曲 BWV988

Johan Sebastian Bach: Goldberg Variations BWV988

清水靖晃／インプロヴィゼーション

Yasuaki Shimizu: Improvisation

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| [テナーサキソフォン] | [サキソフォン] | [コントラバス] |
| 清水靖晃        | 江川良子     | 佐々木大輔    |
|             | 林田祐和     | 倉持 敦     |
|             | 鈴木広志     | 大石健治     |
|             | 東 涼太     | 木村将之     |

## 2010.2.27(土) 18:00 start (17:30 open)

料金 [全席指定]: S=¥5,000 / A=¥4,000 / B=¥3,000  
(トリフォニークラブ会員は各10%引き、同時入会申込可) 前売開始: 10月4日(日)  
ご予約・お問合せ: トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

[www.triphony.com](http://www.triphony.com) すみだトリフォニーホール





Gold Berg 清らかな水 Bach  
**黄金の巨峰から湧き出るピュアウォーターの奔流**  
 ——清水靖晃&サキソフォネッツ《ゴルトベルク変奏曲》について

イングマル・ベルイマン監督がバッハの音楽を用いた映画「サラバンド」を見た時、とっさに靖晃さんのことを思い出した。配給会社のロゴタイトルの音楽を靖晃さんが手がけていた偶然もあるが、ベルイマンがバッハで象徴した人間の愛憎、煩悩、葛藤、欲望、そのほかもろもろ——一言で要約すれば人間の“ムラムラ”したものが、靖晃さんの音楽を強く想起させたのだ。映画界の頂点をきわめた巨峰の人 (Berg man) ベルイマンと、音楽を渴望するぼくらの咽喉を癒し続けるピュアウォーター (清らかな水) 清水靖晃。折りに触れ、ふたりが生涯の節目にバッハの音楽に立ち返り、《無伴奏チェロ組曲》に基づく作品を発表してきたのは決して偶然ではない。ベルイマンと靖晃さんのスタイルはまるで違うが、人間の不条理と向き合うふたりにとって、バッハの音楽の奔流 (Bach) はいわば清濁併せ呑む大海にして参照点なのである。

1990年代半ばから靖晃さんがサキソフォネッツとして始めた《チェロ・スイーツ》の一連の演奏録音は、バッハをアレンジする行為、ひいてはバッハを演奏することの意味を根底から変えてしまう画期的なプロジェクトだった。バッハの潜在的ポリフォニーをサクソアンサンブルで顕在化させる大胆な着想とその実現もさることながら、ぼくたちの度肝を抜いたのは、彼が周到に選び抜いた演奏の場だ。渋谷の地下駐車場、大谷採石場、釜石鉱山、すみだトリフォニーホール——これら空間を満たす空気 (air) を、靖晃さんはバッハの歌 (air) で見事にヴァイブレートさせ、その結果、空間そのものの意味すらも変わってしまったのである。

「バッハは一生取り組み続けていく存在」と公言する靖晃さんが、すみだトリフォニーホール《チェロ・スイーツ》演奏から10年の節目を迎える2010年、ついに同じ会場でサクソフォン5本とコントラバス4本による《ゴルトベルク変奏曲》に初めて挑む。そのアレンジは清流になるのだろうか？ はたまた濁流になるのだろうか？ 《ゴルトベルク変奏曲》という黄金 (Gold) の巨峰 (Berg) からピュアウォーター (清らかな水) の奔流 (Bach) となってムラムラと湧き上がる、靖晃さんとサキソフォネッツの演奏。いま、確実に言えることは、靖晃さんと《ゴルトベルク変奏曲》演奏史の新たな春 (スプリング) の到来を告げる清らかな湧き水 (スプリングウォーター) が、2010年2月27日の初演の夜に初めて地表の空気 (air) に触れ、冒頭のアリア (air) に続く30の変奏曲が、すみだトリフォニーホールの空気 (air) をクールに、しかもホットに満たすということだ。

前島秀国

(まえばみひでくに / サウンド&ヴィジュアル・ライター)

# 清水靖晃&サキソフォネッツ

## 《J.S.バッハ／ゴルトベルク変奏曲》

料金【全席指定】: S=¥5,000 / A=¥4,000 / B=¥3,000

(トリフォニークラブ会員は各10%引き、同時入会申込可)

■ご予約・お問合せ:

トリフォニーホールチケットセンター

[10:00~19:00] .....03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン

.....http://www.triphony.com/

ホール公式携帯サイト



■前売り:

e+ (イープラス) ..... http://eplus.jp/

電子チケットぴあ ..... 0570-02-9999 (Pコード336-144)

東京文化会館チケットサービス ..... 03-5685-0650

プランクトン ..... 03-3498-2881

【トリフォニーホール託児室ご案内】

■ご予約・お問合せ: 0120-500-315

(株)小学館集英社プロダクション総合保育サービスのHAS

●受付時間: 平日/月~金(祝日除く)10:00~17:00

ご利用1週間前までにご予約下さい。

●料金: 生後6ヶ月~1歳: ¥3,000 / 2歳以上: ¥2,000

■主催・企画: すみだトリフォニーホール

■制作: プランクトン、サテト

■協力: ビクターエンタテインメント

※「ゴルトベルク変奏曲」演奏開始後は途中入場できません。

※都合により公演内容の一部が変更となる場合がございます。 ※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

蝉の鳴き声が聴こえる夏の午後。目下ゴルトベルク編曲中。アリアと30の変奏曲。あちらから、こちらから降り注ぐ点と線。さあ、これらに軽く触れながらどう粋に踊れるだろうか。手はこんな具合で足はこう。飛び跳ねたりぐるぐる回ったり。しかしある時は止まったように浮いていたい。ああ、耳元で小刻みに空気が震えるよ。武者震い。

清水靖晃



総合的な音楽製作者として様々な領域で活動を展開。90年代後半、バッハの無伴奏チェロ組曲に取り組んだアルバム「チェロ・スイーツ」が反響を呼んだ。2007年、清水オリジナルアルバム「ペンタトニカ」発売。アートインスタレーション、ビデオ、映画などの音楽も多数手掛ける。トリフォニーホールへの登場は2000年以来10年ぶり。

www.yasuaki-shimizu.com



★JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩約5分



# すみだトリフォニーホール



清水靖晃&サキソフォネッツ

2枚組アルバム「チェロ・スイーツ」(2007年)

ビクターエンタテインメント VICP-63779-63780 ¥3,500 (税込)

「チェロ・スイーツ1.2.3」(1996年)と「チェロ・スイーツ4.5.6」(1999年)として別々にリリースされていた、清水靖晃のテナーサクソフォンによるJ.S.バッハの「無伴奏チェロ組曲」全曲を2枚組完全盤として収録。



清水靖晃&サキソフォネッツ

アルバム「ペンタトニカ」(2007年)

ビクターエンタテインメント VICL-62359 ¥3,000 (税込)

清水が長年取り組んできた五音音階の可能性をサクソフォンアンサンブルで表現したアルバム。また、日本の五音音階と密接な繋がりのあるエチオピア伝統曲のアレンジも収録。